

❖ 科目名 Course Title			
農畜産関係法（日本の農業・畜産をめぐると法律問題） [LAW OF AGRICULTURE AND STOCKRAISING]			
❖ 担当教員 Instructor			
野原 香織 [NOHARA Kaori]			
❖ 開講学期 Semester	前期	❖ 対象学年 Year	3～
❖ 履修可能人数 Capacity	制限なし	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class	講義		

❖ キーワード Key Words			
法的責任、規制行政、知的財産、家畜取引、食品安全、労働安全、環境保全、農業競争力			
❖ 授業の目的 Course Objectives			
農畜産業および食品安全に関する法制度を理解する			
❖ 授業概要 Course Description			
<p>農産物の生産で最も重要なことは、食品としての安全性を確保することである。そのためには生産者倫理や消費者意識といった個人の努力だけでなく、生産から消費にいたるまでの明確なルールづくりが不可欠となる。農畜産業に関する種々の法律は、国家による強制力をもつルールとして「食の安心・安全」を支えている。近年、「食」をめぐる国際情勢の変化や科学技術の進歩、そして社会問題となった「食品スキャンダル」などの重大事件をうけて、農畜産業および食品安全に関する法制度は転換点を迎つつある。この授業では、わが国の農畜産業の現状と課題をふまえたうえで、関連する法制度を具体的な事例を交えて習得し、さらに現在の法制度が抱える問題点の解決策を考えるために必要な法的思考力を養う。</p>			
❖ 到達目標 Course Goals			
<p>① 農畜産業および食品安全に関する法制度の概要を説明することができる。 ② 現在の法制度の問題点や将来的課題を見出すことができる。 ③ 各法制度の背景・意義・概要・問題点を文献等から調査し、自らの考えを法的観点から展開することができる。</p>			
❖ 授業計画 Course Schedule			
<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 法学の基礎知識 3. 食中毒事件 4. 産地偽装事件 5. 遺伝子組換え作物・食品の安全性 6. 農業知的財産（1）一品種登録と育成者権 7. 農業知的財産（2）—地理的表示（GI）・地域団体商標 8. 風評被害 9. 財産としての家畜—家畜取引 10. 家畜伝染病予防 11. 家畜の“福祉” 12. 農業従事者の労働法 13. 外国人労働者の受け入れ 14. 環境保全型農業 15. 「農業競争力強化」政策 			
❖ 成績評価 Grading System			
<p>リアクションペーパーおよび授業参加度（20%）、授業内でおこなう小テスト（30%）、期末レポート（50%）によって評価する。リアクションペーパーと授業参加度は、講義内容への興味関心や積極的参加の度合いをみる。また、小テストによって知識の定着度をはかり、期末レポートでは授業でとりあげた法制度への理解の深まりと各自の考察を評価する。</p>			

❖ テキストTextbooks テキストは指定しない。講義資料を配布する。
❖ 参考書Reading List 授業時に適宜指示する。
❖ 準備学習Homework 予習: 次回の内容と参考資料を提示するので、各自で目を通しておくこと。 復習: 小テストに取り組み、講義内容を復習して知識を定着させること。
❖ オフィスアワーOffice Hour (水)(木)(金) 15時～17時 ※ただし、出張などで不在のこともあるので、事前に連絡をください。
❖ 連絡先 (E-mail) E-mail knohara@obihiro.ac.jp
❖ 質問・相談への対応方法Contact Information 授業後やオフィスアワーにて対応します。また、メールでの質問・相談も受け付けます。
❖ 履修上の注意Notes 授業計画は、受講者の興味関心や時事問題に応じて変更する可能性があります。期末レポートについての詳細は授業時に指示します。
❖ 備考Other Information 講義の内容に関心をもって積極的に参加することをのぞみます。また、農畜産業や食品安全に関するニュースに日頃から目を通すようにしてください。

※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は、科目提供大学以外的人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。